

2019.4.13-14
OKAYAMA

Round

01

final

波乱に翻弄された開幕戦 難敵を制して優勝を果たす

AUTOBACS SUPER GT 2019 SERIESの第1戦、K-tunes Racingは見事、優勝しました。単なる開幕戦ではなく、地元・岡山国際サーキットでの勝利は特別なものです。チームにとっては昨年の参戦以来、通算3勝目となります。

天気予報は雨。早朝からお昼まで降る予測でしたが、実際に降り始めたのはお昼で、その結果決勝レースは雨が降りしきりで行われました。

予選は2番手。新田守男選手がQ1を通過すると、SUPER GTデビューレースとなる阪口晴南選手が速さを発揮してQ2で2番手を獲得しました。ポールポジションを獲得したのは、#55ARTA NSX GT3。新田守男選手とともに最多勝を誇る高木真一選手と、今シーズンがSUPER GTデビューとなる若手福住仁嶺選手という組み合わせも、まるでK-tunes Racingと同じ。最高のライバルに違いありません。

「順当にいけば、55号車との一騎打ちだろうね」と影山正彦チーム監督がレース前に予想した通り、マッチレースが展開されていきます。





しかし、そこに文字通り水を差したのが雨。セーフティカースタートで始まり、解除されるとすぐにクラッシュが発生して、再びセーフティカーが導入。セーフティカーは5回、そのうち2回は結果的に赤旗中断になりました。14時30分予定通り開始されたレースは、16時27分に2度目の赤旗が出るまで、マシンが全開で戦ったのは13分03秒。

スタートドライバーの新田守男選手は、12周目に高木真一選手のオーバーテイクに成功。断続的にセーフティカーが入り、雨で刻々と変化する路面状況を、ベテランらしい落ち着いた走りでもレースをリード。新田守男選手にとって通算21勝目となる優勝を果たしました。レースは30周と短く、阪口晴南選手が乗るチャンスはありませんでした。

予選で見せた阪口晴南選手の若々しく鋭い走りと、難しい状況の決勝レースをモノにした新田守男選手のベテランの味。幸先の良い優勝はK-tunes Racingの強さを証明といえるでしょう。

2019 AUTOBACS SUPER GT Round1 OKAYAMA GT 300km RACE

岡山国際サーキット

2019年4月14日 天候：雨 路面：Wet

final

Pos	No	Machine	Driver	Laps	Best Lap	Time/Gap(sec.)	Tire
1	96	K-tunes RC F GT3 LEXUS RC F GT3 / 2UR-GSE	新田 守男 阪口 晴南	30	1'37.134	1:54'00.337	BS
2	55	ARTA NSX GT3 Honda NSX GT3 / JNC1	高木 真一 福住 仁嶺	30	1'37.503	2.092	BS
3	52	埼玉トヨペットGB マークX MC TOYOTA MARK X MC / GTA V8	脇阪 薫一 吉田 広樹	30	1'38.451	3.885	BS
4	61	SUBARU BRZ R&D SPORT SUBARU BRZ GT300 / EJ20	井口 卓人 山内 英輝	30	1'39.078	6.686	DL

ファステストラップ：1'37.134 No.96 K-tunes RC F GT3 / 新田 守男

監督・選手コメント



Team Director
影山正彦

これだけ再スタートを繰り返すとドライバーはとても辛かったと思います。そういう中で新田選手が上手く走らせてくれて優勝につながりました。



Driver
新田守男

集中力を切らさないように注意していましたね。オーバーテイクはウチよりも温まりが悪く見えたので、最初からタイミングを狙っていました。



K-tunes Racing についてのお問い合わせは
yushi_kamimoto@okay-toyopet.jp 070-7561-1454